

2025 7/22

No.2239

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



第73回湘南ひらつか七夕まつりが、4～6日の3日間、平塚市の平塚駅北口などで行われ、約115万人が来場した。昨年から5万人増で、コロナ禍前から6年ぶりに露店の路上出店を実施した。



contents

視点・点描

お米の適正価格とは？

3

講演録

タイパ化する世の中

～倍速視聴から考えるZ世代のトリセツ
ライター・コラムニスト 稲田 豊史

4

特集

異次元のトランプ2.0政権

～ポスト・パックス・アメリカナを見据えて
日本に求められる対応～

8

政治・双眼鏡

目指すべき「合意の政治」

ノーサイドで超党派協議を

12

平井久志×リアルワールド

ご本人も芭蕉扇の威力自覚を

13

神奈川景気データファイル

14

事務局だより

◇2025年8月定例会 (工場見学と講話)

8月28日(木) 午後2時30分～5時
麒麟ビール横浜工場
(京浜急行線生麦駅から徒歩)
講師：麒麟ビール横浜工場長
藤原 義寿氏
麒麟ビール工場見学・試飲
有志ビアホール懇親会(午後5
時～、参加費5千円)

◇2025年9月定例講演会

9月24日(水) 午後1時30分～3時
かながわ労働プラザ
(石川町駅から徒歩)
講師：神奈川新聞特別編集委員
有吉 敏氏

【お知らせ】 神奈川政経懇話会事務局は8月13～15日、休ませていただきます。

会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226) 2121。

視点 点描



お米の適正価格とは？

あれから1年―。農水省が今月

題を浮き彫りにした。

11日に発表した6月30日～7月6日時点の米の店頭平均価格(5^キ)は、前週比157円安い3534円。

供給過剰が問題となる中、国が価格下落を防ぐ狙いで減反政策を本格導入したのは1970年代。

安価な政府備蓄米の流通の広がりを受け、7週連続の下落となった。ただ、前年同時期と比べ

2018年に廃止されたが、今も転作に補助金を出すなど生産調整は実質的に継続しているという。

ると1・5倍の水準。銘柄米に限れば4500円超と、高値の状況が続いている。

この間に、農業人口の減少や高齢化が進行。近年は気候変動リスクも高まっている。備蓄米の放出

が続き、価格高騰の理由として天候不良に伴う収穫量の減少やインバウンド(訪日客)の増加による

も、根本的な解決には至っていない。

需要拡大などが挙げられた。業者の買い占め、家庭での買い置きも品薄に拍車をかけたとされる。

安定した価格で流通させることは急務だが、中長期的な視点で見れば、生産者の意欲を引き出すための施策が欠かせない。そもそも

農水省は「新米(2024年産米)が出回れば価格は落ち着く」と繰り返し主張。消費者の期待は

生産者にとっての「適正価格」とは。どうしたら農業を持続可能なものにできるのか。騒動を教訓

しかし、あつさり裏切られた。1年たっても、混乱が収まる気配はない。

に、社会全体で考えていきたい。(神奈川新聞社経済部長・

「令和の米騒動」が始まった昨

代金を支払って急場をしのいだ。

夏。どうにもお米が入手できず途方に暮れていた時、我が家を救ったのが沖縄県に住む実姉だった。

数日後に届いたのは北海道産のブレンド米。配送料を加えても、当時ネット上に出回っていたものよりも安かったと記憶している。

近所のスーパーの棚を撮影したという写真にはお米がずらり。沖縄は独自の流通ルートが確立されているのか、騒動とは全くの無縁

日本の中から南、そこからさらに神奈川へ運ばれたことを思うと、ありがたみが増した。お米を食べ

のようだった。姉に配送の手配をしてもらい、スマホ決済アプリで

られることが、実は当たり前ではないと実感した。

騒動は、米を巡るさまざまな課

岡本 晶子